

スコッチウイスキー産地別(2) ハイランド バラエティー豊かな～広大な高地



スコッチウイスキー6大産地の中で最も広大な地域ですが山がちで人口は疎らです。多くの自然が残っており、ネッシーでお馴染みのネス湖があるのもこの地域です。東西南北に分けられますが、分類が難しいくらいにバラエティーに富んでいると言われていています。
ハイランドの4つの地区から代表的なシングルモルトを8種類選びました。

ハイランド各地区のウイスキー お好きなだけ
会費:2500円 (おつまみ付き・飲み方は自由)

7月13日(金)、14日(土)、20(金) 他の日も応相談
17:00 - 20:00 事前連絡歓迎 於:Café & Bar 朝堂院

北ハイランド

グレンモレンジ 18年

1843年創業。
樽のバイオニアと言われ、後熟成の先駆者。中でも18年熟成にはこだわりが凝縮されている。パッションフルーツの芳香と深みある濃厚な味わい。



ダルモア12年

1839年創業。
自然が残され、鹿狩りが有名な地域。古典的で深みのある食後酒。加水するとふくよかな樽香が漂う。柑橘系の芳香もあり、フレッシュ感もある。



西ハイランド

オーバン14年

1794年創業。
港町にある非常に古い蒸留所。島々への玄関口。潮風の香りがアクセント。



バルブレア05
1826年設立。
「平らな土地」という意味。ヴィンテージ毎に製品化されている。バランスがよく余韻が続く。仕込み水はピード色が濃いと言われる。



オールドプルニー12年
1826年設立。
グレートブリテン島では最北の蒸留所。北の厳しい海の近くに建っていて、その影響で潮の味がするといわれ、ボディのしっかりした味わいは北ハイランドを代表するにふさわしい。



クライヌリッシュ14年
1819年設立。
スコッチウイスキーのテイストの全てを含んでいると言われる銘酒中の銘酒。スムーズでフローラルなハイランドの風味と海風がバランスを醸している。



東ハイランド

グレンドロナック12年

1826年創業。
蒸留所名は「ブラックベリーの谷」。シェリー樽熟成でフルーティーでピターなバランスがある。スペイサイドとの境界にある。



南ハイランド

グレンドゴイン10年

1833年創業。
ローランドとの境界上に位置する。10年物はアロマティックで清楚な味わい。

